



恐竜のまちづくり最前線

パート 15



今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

むかわ町の恐竜が東京へ! 恐竜博2016開幕

3月8日、東京・上野の国立科学博物館で特別展「恐竜博2016」が開幕しました。史上最大の肉食恐竜スピノサウルスの新たな復元骨格を始め、日本初公開の化石も展示されています。

この特別展に、むかわ町のハドロサウルス類恐竜化石が展示されています!会場では以前穂別博物館で展示された右大腿骨のほか、ジャケットや発掘道具、記録映像が並んでいます。4月5日～6月1日には北海道大学の学生によるむかわ恐竜化石のクリーニングが実演されます。

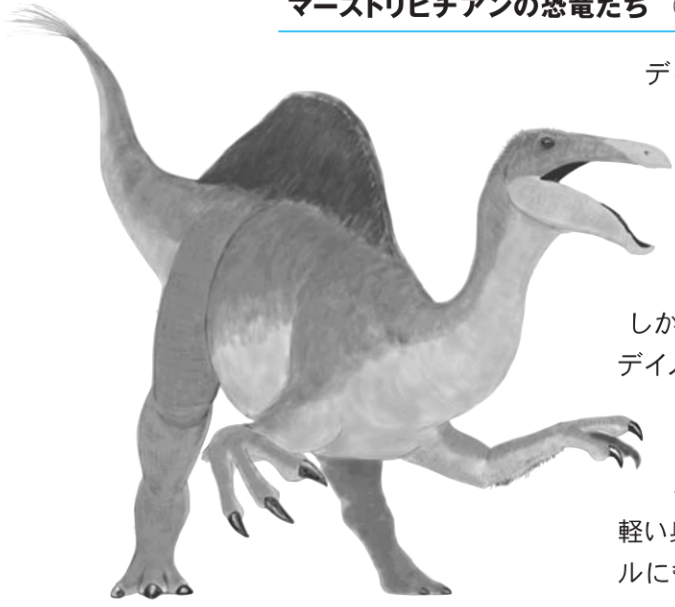
東京会場での観覧者数は50万人に達すると期待され、さらに大腿骨以外は北九州、大阪でも展



会場内に展示されているむかわ恐竜の右大腿骨

示されます。たくさんの人たちにむかわ町のことを知ってもらえることになりそうです。

マーストリヒチアンの恐竜たち ④ デイノケイルス



デイノケイルスは「恐ろしい手」という意味の名前で、これは長さ2.4メートルに達する巨大な前足に由来する名前です。1965年にはじめて見つかった化石は、この前足と肩のほかには断片的な化石しか見つからず、その姿はなぞに包まれていました。しかし2000年代に発見された新たな化石から、デイノケイルスがオルニトミモサウルス類という恐竜の仲間であることがわかりました。オルニトミモサウルス類は速く走るために身体を軽くした恐竜ですが、デイノケイルスはこの軽い身体を利用して巨大化を果たし、全長11メートルにも達する巨体を手に入れたのです。

文・イラスト：太田晶（地域おこし協力隊）

人 の 動 き

平成28年2月29日現在

- ▶ 人口 8,691人 (-20)
- ▶ 男性 4,280人 (-9)
- ▶ 女性 4,411人 (-11)
- ▶ 鶴川地区 5,908人 (-9)
- ▶ 穂別地区 2,783人 (-11)
- ▶ 世帯 4,368世帯 (-12)

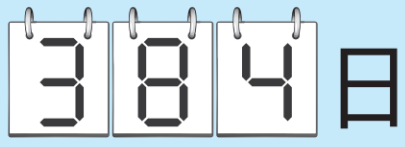
※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含まず。

平成28年2月1日～29日

出生 3人 死亡 14人
転入 14人 転出 23人

交通死亡事故ゼロ日数

平成28年2月29日現在



春の全国交通安全運動(4月6日～15日)が展開されます。新入学・新学期を迎える子どもたちや自転車利用者に十分注意して安全運転をお願いします。

